

第3学年国語科学習指導案

平成28年6月24日金曜日 第6校時

須崎市立朝ヶ丘中学校

3年B組 生徒19名

場所：3年B組教室

指導者：

【育成を目指す言語能力】

〔B 書くこと〕

- (1)イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
- (1)エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。

〔C 読むこと〕

- (1)イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕
- (1)ウ(ア) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。

【具体的な言語活動】

〔B 書くこと〕

- (2)イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。

〔C 読むこと〕

- (2)イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。

1 単元名・教材名 「文章の展開を考える『絶滅の意味』」（東京書籍）

2 単元・教材について

(1) 単元観・教材観

情報を正確に読み取り、それに対して自分の考えを持ち、その考えを説得力をもって伝える力は、現代社会に生きるうえで不可欠なものといえる。本教材は、地球環境問題の一つである絶滅の問題についての、筆者の主張が述べられた文章である。その主張を正確に読み取るとともに、それに対して根拠を明確にして自分の意見を持つことで、自然環境と人間との関わりについて考えることができると思われる。また本教材は、現代の絶滅の問題点や生態系の仕組みについて例を用いながら展開するだけでなく、筆者の主張に対する反論を取り入れることで、より説得力のある文章となっている。説明的文章の「構成・展開」を学習する系統では、1・2年で分かりやすい構成・展開の仕方、および書き方の工夫を学んできた。そこで3年ではそこから一歩進んで、説得力を高めるための論の進め方をとらえるために、「主張を支える根拠は具体例を示すなどして詳しく述べる」ことや「筆者とは異なる立場の主張を取り上げ、それに反論する」ことを本文でおさえさせたいと考える。

(2) 生徒観

国語に対する関心・意欲はあまり高くなく、特に「書くこと」においては苦手意識を持った生徒が多い。それでも、昨年度から定期テストで短作文問題を出題してきたことで、あきらめずに書くという意識を持たせることはできており、今年度1学期中間テストでは、無回答率10.7%という結果であった。だが、内容としては、「なぜそのように感じたのか」という根拠が薄く、中学3年生が書く文章としては幼さを感じる。文章を書くときには、相手や目的に応じて、伝えようとする中心と根拠を明確にすることや、構成の仕方を工夫することが必要とされる。そのため、「読むこと」に加え、構成を意識しながら文章を書く活動を取り入れ、自分の主張を、資料などから引用した根拠とともに書くことで、説得力のある文章を書く力をつけたいと考える。

(3) 指導観

平成28年度全国学力学習状況調査B問題の分析から、目的に応じて必要な情報を関連付けて読みとったり、文章の構成や展開、表現の仕方に着目させながら、書き手の目的や意図、その効果を考える力が全体的に弱いことが分かった。また、先述した通り「書くこと」において、相手や目的に応じて、根拠を明確にして書く力が弱いことも分かっている。そのため、文章の構成と展開の仕方に着目しながら、筆者の主張を読み取らせる学習をしたあとに、与えられたテーマについて自分の考えを根拠を明確にしながら書く活動を取り入れる。その際、文章の構成や展開を工夫し、テーマについて関連した資料から、自分の主張に対する必要な情報を引用したり、反論を取り入れながら書くことで、より説得力のある文章が書けることを理解させたい。

3 単元（教材）の目標

- 文章の論理の展開の仕方をとらえながら読み、生物の絶滅が与える影響について理解する。
【C(1)イ】
- 論理の展開を工夫し、資料を引用したり他の意見を参考にするなどして、説得力のある意見文を書く。
【B(1)イ】【B(1)エ】

4 単元（教材）の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ○絶滅について自分の考えと比較しながら通読し、大まかな内容をとらえようとしている。 ○論の展開の仕方に注目しながら、文章を読もうとしている。 ○テーマについて自分の立場を決定し、意見文を書くために必要な情報を収集しようとしている。 ○テーマについて知っていることや、調べて分かったことについて、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書いている。 【指導事項B(1)イ】 ○書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めている。 【指導事項B(1)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。 【指導事項C(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ○第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。 【伝国(1)ウ(7)】

※ ◎は、重点をおいた評価規準。【 】は学習指導要領指導事項との関連。

5 指導と評価の計画 (全7時間)

時	○指導のねらい (目標) ・学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
1	○単元全体の流れを確認し、学習の見通しを持つ。 ○全文を通読し、大まかな内容をとらえる。 ・生物が絶滅する原因や問題について考える。 ・本文を通読する。 ・語句の意味を調べ理解する。 ・初読の感想を書く。	・絶滅について自分の考えと比較しながら通読し、大まかな内容をとらえようとしている。(ノート)			・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。(観察)
2	○文章の論理の展開の仕方をとらえながら読む。 ・形式段落 1～10 を音読し、現代の絶滅がなぜ問題なのか、過去と現代の違いから問題点を読み取る。 ・形式段落 11～14 を音読し、生態系の仕組みについて読みとるとともに、この部分が筆者の主張の根拠となっていることを理解する。	・論の展開の仕方に注目しながら、文章を読もうとしている。(観察)		・人間の行為が生物の絶滅を引き起こしていることと、その絶滅が人間にどのような影響を及ぼすのかについて、生態系の仕組みの説明から読みとっている。(発表、ノート)【C(1)イ】	
3	○文章の論理の展開の仕方をとらえながら読む。 ・形式段落 15～20 を音読し、生態系が人間にもたらす恩恵について読みとるとともに、この部分も筆者の主張の根拠となっていることを理解する。 ・形式段落 21～27 を音読し、筆者と異なる主張を挙げることで、どのような効果があるのかを考える。 ・本教材を通して、人間社会と生態系の維持との関係について感じたことをまとめる。	・論の展開の仕方に注目しながら、文章を読もうとしている。(観察)		・生態系がもたらす恩恵を読みとっている。(発表、ノート)【C(1)イ】 ・筆者とは異なる立場の主張を取り入れることで、論により説得力が増すことをとらえている。(発表、ノート)【C(1)イ】	
4 (本時)	○説得力のある意見文を書くために必要な情報を収集し、構成を考える。 ・テーマについて思いつく事柄を付箋に書き、班で交流する。 ・班で交流した意見をもとに、自分の立場を決定し、提示された資料から、必要な情報を収集する。 ・構成メモに、自分の立場や、根拠などをメモしていく。	・世の中に普及しているロボットのメリットとデメリットについて考え、どちらの立場で意見文を書くか決定し、そのために必要な情報を収集しようとしている。(観察)	・自分の立場を支える根拠を資料から引用している。(ワークシート)【B(1)イ】 ・説得力のある意見文にするための構成を考えている。(ワークシート)【B(1)イ】		

5 ・ 6	<p>○収集した情報をもとに、意見文の下書きをする。</p> <p>○書いた文章を互いに読み合い、指摘された点を活かして直すことで、より説得力のある文章にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成メモを参考に、説明文の下書きを書く。 ・班で下書きを読み合い、工夫されている点や、疑問に思った点、工夫が必要な点について付箋に書いて指摘し合う。 ・指摘された点を参考に、自分の下書きを推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メモをもとにして、自分の主張を述べる文章の下書きを書いている。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成メモでメモした意見や根拠をふくらませたり、引用した部分を取り入れたりしながら下書きを書いている。(ワークシート)【B(1)イ】 ・指摘された点から、特に説得力のある文章にするために訂正が必要な事柄について見直しをしながら推敲している。(ワークシート)【B(1)エ】 		
7	<p>○説得力のある意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推敲した文章を、原稿用紙に清書する。 ・清書した文章をペアで読み、説明が納得できるものかどうかを交流し、相手の説明の良さを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて知っていることや、調べて分かったことについて、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書こうとしている。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価している。(原稿用紙) 		

6 本時の指導 (4 / 7 時の内容)

(1) 本時の目標

- ・説得力のある意見文を書くために必要な情報を収集し、構成を考えよう。

(2) 本時の観点別評価規準

- ・テーマについて自分の立場を決定し、説明文を書くために必要な情報を収集しようとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・自分の立場を支える根拠を資料から引用している。 【指導事項B(1)イ】

- ・説得力のある意見文にするための構成を考えている。 【指導事項B(1)イ】

(3) 準備物

- ・ワークシート、付箋、ホワイトボード、ペン、ロボットについての資料、電子黒板

(4) 学習の展開

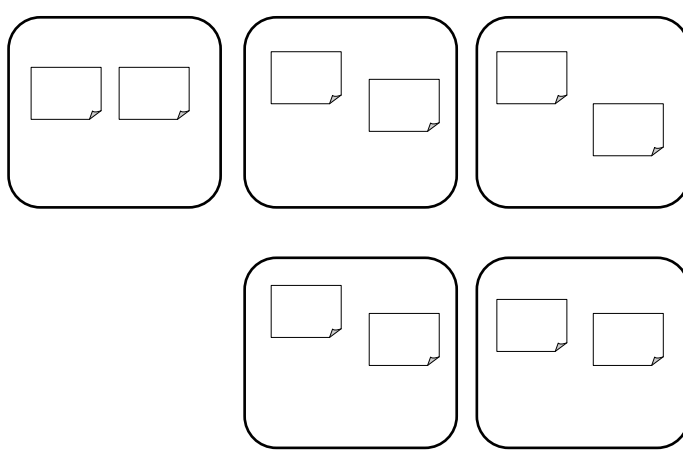
	探究的な学習の流れ	生徒の意識の流れ	学習活動	指導上の留意点	評価規準・方法
導入 (3分)	めあての提示		<ul style="list-style-type: none"> ・「絶滅の意味」の論の展開の仕方を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論の流れを視覚化する。 	
		説得力のある意見文を書くための情報を収集し、構成を考えよう。			

	<p>課題の確認 ↓</p> <p>課題解決活動（思考） ↓</p> <p>情報収集 ↓</p> <p>表現 ↓</p>	<p>自分たちの生活の中で、どれだけロボットは普及しているのかな。</p> <p>↓</p> <p>ロボットに対する評価や、使われ方にはさまざまあるんだな。私はロボットのメリット（デメリット）の立場で文章を書くことにしよう。</p> <p>↓</p> <p>私の主張をより説得力のあるものにするには、この記事の情報を引用して、具体的な根拠の例として挙げるといいかもしれない。</p>	<p>「ロボット社会と人間との付き合い方」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中に普及しているロボットを挙げていく。 ・ロボットが普及することについて、どのようなメリットとデメリットが出てくるのかを挙げる。 (個人→班) ・他の班から出た意見を確認する。 ・構成メモに、①自分の立場、②自分の意見を支える根拠、③自分と異なる意見を記入（メモ）する。 ・配布された資料から情報を得る。 ・構成メモに、文章の展開順を番号で記す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアなどで取り上げられているロボットや、身近なところで使われているロボットなどを写真で紹介する。 (例：ペッパー、介護ロボット、お掃除ロボットなど) ・付箋にメリットとデメリットを書き、ホワイトボードに貼らせる。 ・黒板に貼った各班のホワイトボードから、いくつかの意見を紹介し、生徒自身が主張したい内容の根拠、あるいは反論の材料とさせる。 ・内容が異なるロボットに関する4つの記事から、現代のロボット事情や、人間社会の在り方について、自分の考えを支える根拠となる部分を構成メモに引用させる。 ★書き方の例題を紹介する。 	<p>◇評価規準 世の中に普及しているロボットのメリットとデメリットについて考えようとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>◇評価方法 観察</p> <p>◇評価規準 どちらの立場で意見文を書くか決定し、そのために必要な情報を収集しようとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>◇評価方法 観察</p> <p>◇評価規準 自分の立場を支える根拠を資料から引用している。【指導事項 B(1)イ】</p> <p>◇評価方法 ワークシート</p> <p>◇評価規準 説得力のある意見文にするための構成を考えている。 【指導事項 B(1)イ】</p> <p>◇評価方法 ワークシート</p>
<p>展開 (42分)</p>					

まとめ (5分)	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに、本時のめあてに対する達成度と、自己課題や改善点などを記入する。 ・次時の学習の確認をする。 		
-------------	------	--	--	--

★ 努力を要する状況と判断される生徒への手立て

板書計画

<p>尾括式</p> <p>問題提起 ↓ 問題の考察 ↓ 反論・意見</p>	<p>〈「絶滅の意味」の構成〉</p> 	<p>めあて</p> <p>説得力のある意見文を書くための情報を収集し、構成を考えよう。</p> <p>「ロボット社会と人間との付き合い方」とは</p>	<p>授業の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 課題の確認 ② 解決活動 ③ 情報収集 (個↓班) ④ 表現 (構成メモ) ⑤ ふりかえり
--	---	--	--